

平成 29 年 3 月開催予定 JGS 宝石勉強会 テーマ M

## 仮題 「地金の不思議」

宝石店はなかなか楽しいお店です。別に買うものがなくとも只のぞいているだけでも楽しいものです。美しく輝く宝石達を支えている金属は私達の親しめる分野といえます。宝飾品のデザインを重視し、絵や彫刻と同じように芸術の一分野として金属を追及してみると、不思議な世界が現れてきます。

「宝石の知識」としては鉱物学の知識、宝石の鑑別、鑑定、がありますが

「金属の知識」は、貴金属であるプラチナ、金、銀、パラジウムから銅、真鍮、青銅、アルミニウム、チタンなどの溶解温度、延性、硬度などです。

消費者のお客様から見て、ジュエラーとして宝石の知識はもちろん必須ですが、地金の知識は「あたりまえ」ではないでしょうか？私たち現在の宝石商（ジュエラー）は、以外にも地金の勉強に時間を費やさなくなっていますか？

金属を素材として扱う分野を金属工芸、略して「金工」といいます。その金工も、テクニックにより「鑄造」「鍛金」「彫金」に分けられます。宝飾品の技術としては、宝石を留める技術である石留、身体につける機能を満足させるための金具の技術これに研磨の技術。最近日本で使われている彫金という言葉は正確には金工上の彫金という意味ではなくジュエリーメイキングのことを指すようになってきています。ジュエリーメイキングのテクニックの中でも。ヤスリ掛けとロウ付は基本技術の二つの大きな柱です。

そこから考えて色々な配合の貴金属の現物を手に取りひっかけ、曲げ、ヤスリ、その貴金属の特性を学ぶ場を設けました。近年人気のアンティークジュエリーの修理、加工においても貴金属とロウ材の特徴を知らなければ手の付けられないことになってしまいます。

3 月下旬に開催予定です。正式な日時と場所は近日中にお知らせいたします。

是非この機会に学びましょう。